

ヤングシート Young Seat



9/3 ²⁰²⁵
(水) 会場 東京文化会館

第1025回定期演奏会Aシリーズ

Subscription Concert No.1025 A Series

指揮／大野和士

ヴァイオリン／アリーナ・イブラギモヴァ

ショスタコーヴィチ：
ヴァイオリン協奏曲第2番
嬰ハ短調 op.129
(約29分)

ショスタコーヴィチ：
交響曲第15番 イ長調 op.141
(約42分)

ホールでの 過ごし方

- ◎携帯電話など音や光を発するモノは電源を切りましょう。
- ◎演奏中は静かに聴きましょう！
周りの人も演奏を楽しんでいます。
- ◎公演中の録音・録画、写真
撮影は禁止です。
終演後のカーテンコール時のみ
写真の撮影が可能です。

東京都交響楽団

[[Program Notes]] プログラムノート

ショスタコーヴィチってどんな人？

今日のコンサートでは、今年が没後50年となるロシアの作曲家、ドミトリー・ショスタコーヴィチ（1906～1975）の作品が演奏されます。ショスタコーヴィチは、今のロシアが「ソビエト連邦（ソ連）」という国だった20世紀に活動した作曲家です。ソ連で

は、政治家のリーダーが社会主義という思想のもとに国を収めており、その考えと逸れるような活動をする人は、政治家であれ、芸術家であれ、直ちに逮捕され、命すら落としかねないという厳しい時代でした。ショスタコーヴィチも政府からの厳しいプレッシャーの中で作曲を続けた一人です。自由な音楽表現がしにくい中で、なんとか創作を続けようと、政府からの要望に合わせながら、こっそり自分らしさを音楽の中に潜ませ、数々の交響曲や室内楽、オペラや器楽曲を残しました。



Dmitri Dmitriyevich Shostakovich

ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第2番 嬰ハ短調 op.129

前半に聴いていただくのはヴァイオリン協奏曲第2番です。この曲は1967年に作曲されました。実はこの前の年にショスタコーヴィチは心臓発作を起こし、そのあとに作られた音楽は、うす暗く、深く考え込むような音楽になっています。このヴァイオリン協奏曲もそうした作品の一つです。

ショスタコーヴィチは生涯に2作のヴァイオリン協奏曲を残していますが、どちらもロシアを代表するヴァイオリンの名手ダヴィッド・オイストラフ（1908～1974、ショスタコーヴィチと同世代）に捧げられています。ショスタコーヴィチはオイストラフの60歳のバースデー・プレゼントとしてこの曲を贈ったのです（実際には、間違えて1年早く贈ってしまったそうです！）。

第1楽章は静かに始まり、ヴァイオリン独奏が滑らかなメロディー（第1主題）を提示します。やがて音楽は盛り上がり、キビキビとしたリズムの音楽（第2主題）が現れ、木管楽器やホルン、打楽器も活躍します。後半にはヴァイオリン独奏の腕の見せ所であるカデンツァがあります。複数のメロディーが重なり合う音楽を一人で奏で、そこに柔らかにホルンのメロディーが絡みます。**第2楽章**は非常にゆったりとした音楽です。オーケストラの弦楽器が低音を響かせる中、ヴァイオリンは伸びやかに物悲しい旋律を奏でます。休みなく続けられる**第3楽章**は、ヴァイオリンとホルンのやりとりで始まります。活気がありますが、どこか皮肉っぽく怪しい雰囲気を感じさせます。

ショスタコーヴィチ：交響曲第15番 イ長調 op.141

ショスタコーヴィチは生涯に15曲の交響曲を残しています。1971年、65歳の夏に作られたこの第15番は彼の最後の交響曲で、たった2ヶ月という短い期間で作られました。重々しくシリアスなものも多いショスタコーヴィチの交響曲の中では、軽やかな印象を与える作品です。この曲の中には、過去の自分の作品や、他の作曲家たちが残した名曲からの引用が散りばめられていて、複雑な内容ではありますが、ショスタコーヴィチのさまざまな工夫が感じられる作品です。打楽器にはトライアングルや木琴やカスタネットなど、みなさんにもお馴染みの楽器も使われます。初演は1972年1月、ショスタコーヴィチの息子マキシムが指揮をし、モスクワ放送交響楽団によってなされましたが、ソ連国外で初めて演奏されたのはなんと日本で、同じ年の5月に大阪で行われました。

第1楽章にはロッシーニの「ウィリアム・テル」序曲の有名なモチーフが引用されています。ショスタコーヴィチ自身の子どもの時代の思い出を含め、夜のおもちゃ屋さんをイメージして作られたそうです。**第2楽章**は厳かな讃美歌のように響く「コラル」を金管楽器が奏で、チェロが悲しげな旋律を歌います。音楽は葬送行進曲のように響き、後半ではチェレスタやヴィブラフォンの金属的な響きが独特の音色を添えます。続けて演奏される**第3楽章**はクラリネットのリズミカルな響きで開始し、いたずらっぽい音楽となり、後半はヴァイオリン・ソロが活躍します。最後の**第4楽章**には、ドイツの作曲家ワーグナーの楽劇や、ロシアの作曲家グリグの歌曲、ショスタコーヴィチ自身の過去の交響曲からの引用などが現れます。いくつもの打楽器が静かに打ち鳴らされる中、長く引き伸ばされるイ長調の主和音で締めくくります。

文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

ちなみに……
作曲家・指揮者・
ヴァイオリニストが
一緒に写っている
CDジャケット

指揮
マキシム・ショスタコーヴィチ
(ドミトリーの息子)
作曲
ドミトリー・ショスタコーヴィチ
ヴァイオリンソロ
ダヴィッド・オイストラフ



ショスタコーヴィチ：
ヴァイオリン協奏曲第1番
& ヴァイオリン小品集

EMIクラシックス TOCE-3276
[録音] 1972年11月

今年2025年はショスタコーヴィチ没後50年。
ショスタコーヴィチの曲がたくさん演奏されます。

都響公式 YouTube チャンネルでは、昨年2月に
演奏された交響曲第9番の映像を公開しています。

♪ショスタコーヴィチ：交響曲第9番 変ホ長調 op.70
都響スペシャル
2024年2月17日 サントリーホール
指揮／エリアフ・インバル



他にも都響の楽団員のインタビューや
「ラジオ体操第一 オーケストラ演奏」など、
東京都交響楽団の演奏を映像で
お楽しみいただけます。

大太鼓、小太鼓、シンバル
トライアングル、ムチ
カステネット、タムタム、
トムトム、ウッドブロック
ヴィブラフォン、シロフォン
グロッケンシュピール



ティンパニ



【オーケストラ配置図】

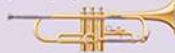
9/3 第1025回定期演奏会

※楽器の配置は一例です。
当日のステージで確認
してください。



ホルン

トランペット



トロンボーン



テューバ



クラリネット



ファゴット
コントラファゴット



フルート
ピッコロ



オーボエ



チェレスタ



第一ヴァイオリン ★
★コンサートマスター

指揮者

チェロ

ヴィオラ

コントラバス



© Herbie Yamaguchi

指揮

大野和士 Kazushi ONO, Conductor

Profile

都響およびブリュッセル・フィルハーモニックの音楽監督、新国立劇場オペラ芸術監督を務めている。トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、モネ劇場（ベルギー王立歌劇場）音楽監督、フランス国立リヨン歌劇場首席指揮者等を歴任。フランス批評家大賞、朝日賞など多数受賞。文化功労者。2017年フランス政府より芸術文化勲章「オフィシエ」を受章、リヨン市からリヨン市特別メダルを授与された。今年11月に『ヴォツェック』（都響がピットに入る）を指揮する予定。



© Joss McKinley

ヴァイオリン

アリーナ・イブラギモヴァ Alina IBRAGIMOVA, Violin

バロック音楽から委嘱新作まで、ピリオド楽器（古楽器）とモダン楽器の両方で演奏するなど、その演奏の多彩さ、誠実さで高い評価を確立している。

1985年ロシア生まれ。グネーシン音楽学校、ユーディ・メニューイン音楽学校、英国王立音楽大学で学んだ。ロイヤル・フィルハーモニック協会賞を2度受賞、2016年に大英帝国勲章MBEを授与された。使用楽器はゲオルク・フォン・オペル提供による1775年頃製アンセルモ・ベッローシオ。

管弦楽

東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として、東京都が1965年に設立し、2025年に創立60周年を迎えた。都響（ときょう）という愛称で親しまれている。

東京文化会館（上野）を本拠地として、オーケストラの演奏会を開催する他、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）などゲーム音楽の演奏、教育活動や福祉施設での出張演奏など多彩な活動を展開している。



© Rikimaru Hotta



<https://www.tmsso.or.jp/>